

令和5年12月市議会 環境経済委員会資料

第182号議案 令和5年度長崎市一般会計補正予算（第11号）

<目次>

ページ

4款 衛生費 1項 保健衛生費 9目 環境対策費

[歳出及び繰越明許費補正]

- 1 省エネルギー家電製品等購入費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・ P2～5

環 境 部

令和5年12月

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
42～43	4 衛生費	1 保健衛生費	9 環境対策費	1-1	省エネルギー家電製品等購入費 補助金	70,010 千円

## 1 現状と課題

○2020（令和2）年10月26日 首相所信表明

国内の温室効果ガス排出量を2050（令和32）年度までに実質ゼロとする「カーボンニュートラル」を宣言

○2021（令和3）年3月17日 「**ゼロカーボンシティ長崎**」を宣言

市民・事業者・行政が一丸となって更に実効性のある取組みを加速させる。

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた戦略をリードする野心的数値目標の設定  
～野心的数値目標を達成するための施策の着実な推進～

目標達成に向けて、市民を対象に省エネ家電製品の導入を支援し、CO2排出量削減を図る。



## 2 事業概要

### 【補助対象機器等】

①エアコン	}	補助率 1/6（上限30千円）	2,000件	予算額 60,000千円
②冷蔵庫				
③高効率給湯器				
④照明器具(LED照明)		補助率 1/2（上限5千円）	1,000件	予算額 5,000千円

【その他経費】	会計年度任用職員報酬等	予算額 4,428千円
	郵送料	予算額 252千円
	振込手数料	予算額 330千円

**予算額計 70,010千円**

【補助対象者】 長崎市民

【その他の要件】 市内店舗での購入のみ対象。  
5万円以上(LED照明は5千円以上)の製品が対象。

## 3 事業内容

### 野心的数値目標を達成するための施策の着実な推進

長崎市のCO2排出量の約2割を占める民生家庭部門における削減を促進させるため、温室効果ガスの削減効果が高く、野心的数値目標の達成に貢献するものを中心に積極的に施策を展開する。

#### 【省エネルギー家電製品等購入費補助】

～即効性のある取組みを真っ先に～  
エネルギー消費性能がより優れた最新機器への導入を支援するとともに、エネルギー価格高騰の影響を受けた市民の家庭におけるエネルギー費用負担軽減につなげるもの。

#### 【省エネルギー家電製品等購入費補助金導入CO2削減効果】

417.4 t-CO2/年

#### 4 スケジュール

	令和5年度		令和6年度
	10～12月	1～3月	4～3月
対象機器の購入及び購入代金の支払		→	
申請受付		→	
審査、交付決定、交付金支給		→	

#### 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 (※1)	県支出金	地方債	その他 (※2)	一般財源
千円 70,010	千円 69,988	千円 -	千円 -	千円 22	千円 -


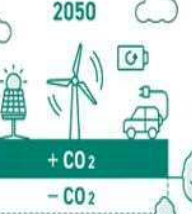


※1 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

※2 保険料個人負担金

## 6 繰越明許費補正

(単位:千円)

ページ	事業名	金額		財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
76~77	省エネルギー家電製品等購入費補助金	補正後予算現額	70,010	69,988	-	-	22	-
		支出予定額	1,747	1,739	-	-	8	-
		<b>繰越明許額</b>	<b>68,263</b>	<b>68,249</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>14</b>	<b>-</b>
	繰越事由	省エネルギー家電製品等の導入が年度内に終了しない見込みであるため。						
	繰越事業の完了予定時期	令和7年3月末						

2022年度	2030年度		2050年度
 <p>+CO<sub>2</sub></p>	<p>2030年の削減戦略</p>		 <p>2050</p> <p>+CO<sub>2</sub></p> <p>-CO<sub>2</sub></p>
<p>エコカー ってかっこ よかなあ～</p>	<p>【削減戦略1】 まち歩きを楽しめる 脱炭素な都市の形成</p>	<p>戦略をリードする野心的数値目標</p>	<p>水素自動車で CO<sub>2</sub>排出ゼロ！ 静かで快適 空気もきれいか～</p>
<p>環境によか ことって何 やろう？</p>	<p>【削減戦略2】 環境にやさしいエネルギーの 活用と環境関連産業の 活性化</p>	<p>【市域】 ●市内自動車保有台数に占めるEV・PHEV の割合を2030年までに20～25%にする 【市役所】 ●公用車(特殊車両除く)の総数に占めるEV・ PHEVの割合を2030年までに50%にする</p>	<p>省エネ・再エネ でCO<sub>2</sub>削減 電気代も安かよ～</p>
<p>自分にでき ることって 何かなあ？</p>	<p>【削減戦略3】 省資源・循環型のまちづくり</p>	<p>【市域】 ●市域のエネルギー消費量のうち、再生可能エ ネルギーの割合を20%にする 【市役所】 ●市保有の建築物のうち太陽光発電設備が設置 可能な施設への導入割合を65%以上にする</p>	<p>みんなの生活が 自然にエコ活動 になっとる～！</p>
 <p>サステナ</p>	<p>【削減戦略4】 日常生活や事業活動の脱炭素 化への転換</p>		 <p>サステナ</p>
<p>「ゼロカーボンシティ長崎」宣言</p>		<p>【市域】 ●燃やされているプラスチック製品を2030年 までにゼロにする 【市役所】 ●ペーパーレス化を推進し、2030年までに紙 の使用量を2020年度比50%以上削減する</p>	
		<p>🌳 二酸化炭素吸収 🌳</p>	<p>【市域】 ●新築住宅のうちZEH基準（ZEH、Nearly ZEH、ZEH Oriented）の省エネ性能に適合 する住宅の割合を2030年までに60%以上 にする 【市役所】 ●既存を含めた市の施設全体のLED照明の導 入割合を2030年までに100%にする</p>